

マンダムグループの沿革

▶ 経営全般 ▶ 研究・商品開発・マーケティング

1927 - 1969

- 1927.12 ▶ 「金鶴香水株式会社」設立
- 1932.11 ▶ 西村新八郎、取締役社長に就任
- 1933. 4 ▶ 「丹頂チック」発売
一世を風靡する大ヒット商品となり、企業基盤を確立
- 1958. 4 ▶ フィリピン・マニラ市にて海外事業の第一歩となる
技術提携会社、丹頂コーポレーションが稼働
- 1959. 4 ▶ 社名を「丹頂株式会社」に変更
- 1961. 5 ▶ 西村彦次、取締役社長に就任
- 1966.11 ▶ 会長 西村新八郎逝去(3日)
- 1969.11 ▶ インドネシア・ジャカルタ市に合併による現地法人
P.T.Tancho Indonesiaを設立
(現・連結子会社 PT Mandom Indonesia Tbk)

1970 -

- 1970. 6 ▶ 輸出貢献企業として通商産業(現・経済産業)大臣の
表彰を受賞('71、'72年にも受賞)
7 ▶ 「マンダムシリーズ」発表会を開き、
9品種10品目の発売を発表
キャラクターには日本で初めてハリウッドスターを起用
(チャールズ・ブロンソン氏)
- 1971. 4 ▶ 社名を「株式会社マンダム」に変更
- 1972.10 ▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)設立
(現・連結子会社(株)ピアセラボ)
- 1976. 3 ▶ 福崎工場が竣工、操業開始
- 1978. 5 ▶ 代理店経由販売から、販売店直接取引(直販)に移行
7 ▶ 「ギャツビー」「スポルディング」、
業界で初の2ライン同時発売

1980 -

- 1980. 4 ▶ 販売店直接取引(直販)から、代理店経由販売に移行
8 ▶ 西村育雄、取締役社長に就任
- 1982. 4 ▶ 第1次中期5カ年経営計画(MPプロジェクト)スタート
9 ▶ 美容院ルートに新しいヘアケアシステムの提案となる
「パリアッチ」ライン発売
10 ▶ インドネシアにて「ピクシー」発売
- 1983. 4 ▶ 新しいCIシステムの導入により、
シンボルマークなどの外見要素を変更
- 1984. 4 ▶ 情報カードシステムを導入
7 ▶ 女性マス市場への第1弾として、
ティーンズ向け「ピュセル マイリップ」発売
- 1985. 2 ▶ 訪問販売による女性化粧品市場参入
3 ▶ 「ギャツビー」から店頭販売初の
男性用ヘアフォームを発売
- 1986. 1 ▶ 社外監査役を設置
9 ▶ 福崎工場エアゾール棟建設
- 1987. 4 ▶ 第2次中期3カ年経営計画スタート
11 ▶ インドネシアにて女性コスメティック
「ピクシー モイスチャーリップスティック」発売
- 1988. 2 ▶ シンガポールにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Singapore) Pte. Ltd.)

- 1988.11 ▶ 株式を店頭公開
▶ 公募増資により50万株を発行
- 1989. 3 ▶ 主力フォーム、(財)日本環境協会より
業界で初のエコマーク認定
9 ▶ 業界で初めての無香料男性化粧品「ルシード」発売
▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)を(株)ピアセラボに社名変更
- 12 ▶ 台湾にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Taiwan Corporation)

1990 -

- 1990. 4 ▶ 第3次中期3カ年経営計画スタート
▶ タイにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Thailand) Ltd.)
7 ▶ 販売助成金の廃止による建値の改正
- 1991. 4 ▶ マンダム東京支店ビル竣工
- 1992. 2 ▶ フィリピンにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Philippines Corporation)
- 1993. 2 ▶ マンダム本社ビル第1期工事竣工 新社屋で営業開始
4 ▶ 第4次中期3カ年経営計画スタート
7 ▶ 香港にて現地合併会社スタート
(現・持分法適用関連会社 Sunwa Marketing Co., Ltd.)
9 ▶ 無香料女性ヘアメイクライン「ルシードエル」発売
▶ P.T.Tancho Indonesia Tbk、ジャカルタ証券取引所
(現・インドネシア証券取引所)に上場
- 1994. 6 ▶ マンダム本社ビル、第2期工事を終え完成
- 1995. 6 ▶ 西村元延、取締役社長に就任
▶ 社外取締役の設置
- 1996. 4 ▶ 第5次中期3カ年経営計画スタート
▶ ホームページ「マンダムワールド」開設
12 ▶ 中国にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Zhongshan City Rida Cosmetics Co.,Ltd.)
- 1997. 1 ▶ マレーシアにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.)
4 ▶ (株)公南サービス設立(現・(株)エムビーエス)
- 1998. 8 ▶ 170万株の自社株公開買付を実施
- 1999. 3 ▶ 「ギャツビー」が男性化粧品ブランドとしては業界初の
100億円の売上を突破
4 ▶ 第6次中期3カ年経営計画スタート
8 ▶ 韓国にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Korea Corporation)

2000 -

- 2000. 5 ▶ 取締役相談役 西村育雄逝去(23日)
8 ▶ 単元株式数を1,000株から100株に変更
- 11 ▶ 福崎工場と物流センターで環境マネジメントシステムの
国際規格ISO14001の認証を取得
- 2001. 3 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk チビトン工場稼働
▶ 「ギャツビー ヘアカラーシリーズ」発売により
男性黒髪用ヘアカラー市場を創造
6 ▶ 執行役員制度導入
8 ▶ 233万株の自社株公開買付を実施



2002. 1 ▶東京証券取引所市場第二部に株式上場
3 ▶マンダムグループ東京日本橋ビル竣工
▶「ギャツビー」ヘアカラーCM、総合第1位
(CMデータバンク：首都圏CM好感度調査)
4 ▶第7次中期3カ年経営計画スタート
5 ▶アジア地域で「ギャツビー」「ルシードエル」の
水平展開をスタート
2003. 1 ▶名誉顧問 西村彦次逝去(25日)
3 ▶東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
▶公募増資により165万株を発行
10 ▶福崎工場がゼロエミッションを達成
▶PT Mandom Indonesia Tbk
「インドネシアEVA(経済的付加価値)優良企業賞」を
受賞('04、'05、'06年にも受賞)
2004. 2 ▶熱傷事故により「ギャツビー EXハイブリーチ」の
自主回収を実施(創業以来初)
3 ▶福崎工場・物流センター・生産技術室が労働安全衛生
マネジメントシステム(OHSAS18001)の認証を取得
10 ▶日本通運(株)に3PL(サードパーティロジスティクス)
業務を委託
2005. 4 ▶第8次中期3カ年経営計画スタート
6 ▶役員退職慰労金制度の廃止
11 ▶アルカンジオール配合の
「防腐剤フリー(防腐剤無添加)処方」を開発
▶女性化粧品自社開発第1号
「パーフェクトアシスト24」発売
2006. 8 ▶「ギャツビー ムービングラバー」を発売、
イメージキャラクターに木村拓哉氏を起用
▶33万株の自社株取得
11 ▶マンダム本社ビルR&D棟竣工
2007. 1 ▶2009年の裁判員制度導入に向けて就業規則を改定
2 ▶東京証券取引所「第12回(平成18年度)
ディスクロージャー表彰」受賞
12 ▶PT Mandom Indonesia Tbk 年間売上1兆ルピア達成
2008. 4 ▶第9次中期3カ年経営計画スタート
5 ▶中国にてMandom China Corporation設立(連結子会社)
2009. 3 ▶首都圏営業拠点を再編
(マンダム東京支店ビル、マンダムグループ東京日本橋
ビル、マンダム日本橋馬喰町ビルを売却)
4 ▶(株)ビューコス(株)エムビーエスに吸収合併
7 ▶88,800株の自社株取得
- 2010-**
2011. 2 ▶「ルシード」エイジングケアブランドへ全面リニューアル
4 ▶第10次中期3カ年経営計画スタート
8 ▶女性コスメティックブランド「ピフェスタ」を発売
2012. 3 ▶インドにてMandom Corporation (India) Pvt. Ltd. 設立
(連結子会社)
2013. 8 ▶「ギャツビー ヘアジャム」を発売し、
ヘアワックスに次ぐ新剤型を提案
2014. 2 ▶ミドル脂臭対策の「ルシード ニオイケアシリーズ」発売
3 ▶福崎工場の生産棟を増設

2014. 4 ▶第11次中期3カ年経営計画スタート
2015. 1 ▶ベトナムにてMandom Vietnam Co., Ltd. 設立
(連結子会社)
6 ▶PT Mandom Indonesia Tbk 本社・工場を
ジャカルタからプカシに移転
7 ▶大阪大学に「先端化粧品科学共同研究講座」を設置
▶PT Mandom Indonesia Tbk 工場にて
犠牲者を伴う火災事故が発生
2016. 10 ▶先端化粧品科学共同研究講座において
ヒトの汗腺幹細胞を発見し、生体外での汗腺様構造体の
再生に成功
2017. 4 ▶従来の企業理念を見直すとともに、100周年に当たる
2027年でのありたい姿「VISION2027」を策定
▶第12次中期経営計画スタート
▶働き方改革の一環として、「在宅勤務制度」を導入
10 ▶株式分割を実施
(普通株式1株につき、2株の割合をもって分割)
2018. 5 ▶グループのマーケティング機能を東京・青山に集約
6 ▶譲渡制限付株式報酬制度を導入
▶いっそうの実効性と透明性を高めることを目的に、
相談役・名誉顧問・顧問を廃止
8 ▶多様な人財の活用、および雇用の拡大を目的として
(株)マンダムウィル設立
2019. 1 ▶マレーシアを中心に若年層の女性向けメイクアップ
ブランドなどを展開するACG International Sdn. Bhd. の
株式を100%取得(子会社化)
5 ▶『天猫国際(Tmall Global)』に越境EC旗艦店をオープン
11 ▶1,903,500株の自社株取得

2020-

2021. 4 ▶西村健、代表取締役 社長執行役員に就任
西村元延は代表取締役 会長に
▶第13次中期経営計画スタート
▶北里大学薬学部にて「スキンケア共同研究講座」を
開設
9 ▶VI(ビジュアル・アイデンティティ)を刷新し、コーポレー
トスローガン「BE ANYTHING, BE EVERYTHING.」を導入
▶福崎工場新生産棟竣工
11 ▶アナフィラキシー症状を含む健康被害により、
リゾチーム塩酸塩配合5商品の自主回収を実施
2022. 4 ▶東京証券取引所の市場区分の見直しにより、
市場第一部からプライム市場に移行
6 ▶マンダム、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の
最高ランク「三つ星認証企業」に認証
▶マンダム、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)
提言への賛同を表明し、TCFDコンソーシアムへも加入
10 ▶「ギャツビー スペースシャワーペーパー」が
国際宇宙ステーション(ISS)搭載品として宇宙へ
2023. 4 ▶「MHRX(Mandom HR Transformation)」の一環として
ジョブ型の新人事制度を運用開始

